2014年度　新旧合同理事会議事録

日時：2014年5月15日(木)　10：30～17：00
場所：情報オアシス4　東京都千代田区神田多町2-4

Ⅰ．開会

Ⅱ．会長挨拶　新旧合同会議にお集まりいただきありがとうございます。後任の方が力を発揮できるのは前任の方の責任かと思います。後任者の方をどれだけ守り応援できるのかにかかっているのではないでしょうか。また、後任者は去勢を張らず、肩に力を入れず前任者に敬意を持って接していただきたい。我々が成し遂げたことが次の世代の土台となります。地域も世代も立場も超えて信頼し励まし合い協力し合える、そんな活動を積み上げていきたい。これが唯一正しい石産協の形だというものはありません。常により良い活動を目指していくことです。そのために必要なのは、批判の心ではなく解決策を提示できる心だと思います。退任される理事の皆さまこれまでのご尽力に心から感謝いたします。新理事の皆さま、これからの２年間どうぞよろしくお願いいたします。

Ⅲ．議事

1. 議長選出：岸本副会長　　議事録作成人：事務局　星野みゆき
2. 定足数確認
   理事：出席68名（83名中）　監事：出席2名（3名中）　顧問：3名　オブザーバー：25名
   事務局：3名　合計：101名
3. 議事録署名人の指名：副会長：福川修介　　監事：　斎藤勝美
4. 資料及び議案の確認、新議題の採択　前回議事録の確認
   新議題の採択：森田部会長より審議4【墓石部会】「お墓の正しいご使用方法」について→審議取り下げ
   二上委員長より協議1【NIPPON石博】実行委員会進捗状況→審議事項へ
5. 本会の目的と事業の確認（定款確認）

【審議事項】

（1）入退会者について　　中江専務理事　資料審議P12

新田：入会者に関して、地区長・支部長どちらの署名が必要なのか。
会長：支部が立ち上がっていない県に対して、地区長・支部長の欄となっている。

入会11名⇒全会一致にて承認

前迫：会費未納退会者について、どのように通知をするのか。本日の理事会にて正式退会なのか。
中江：支部長または事務局より退会を通知する。遡って昨年度3/31付けの退会扱いとなる。

退会10名⇒全会一致にて承認
退会（会費未納）8名⇒全会一致にて承認

（2）定款変更について　　大代専務予定者　資料審議P26

定款を見直すことに対して審議をお願いします。
（訂正P27）記事録→議事録
新田：内容が漠然としているので説明が欲しい。
会長：例えば12の事業内容があるが、すでに取り組まれている事業、またはまったく手つかずの事業などがある。
そのような内容を見直し、改めて定款見直し部分を提案していきたい。
柴田：第31条・3の見直しも必要ではないか。（・・・代表理事の部分）
中江：第31条・2項3項は、定時総会にて定款変更として議案に上げることを審議いただきたい。

⇒全会一致にて承認

（3）北海道支部運営規定 変更について　　越智地区長　資料審議P28

本部規定により理事会審議事項にあげたが、各支部の運営規定変更上程も検討いただきたい。

⇒全会一致にて承認

白木：今後、定款・諸規則検討特別委員会の中で支部運営についても検討していきます。

（4）【墓石部会】「お墓の正しいご使用方法」について　　森田部会長　当日資料

資料が揃っていないため⇒審議取り下げ

(5) 【広報委員会】一般向けＨＰ　第２フェーズについて　上野委員長　資料審議 P31

「お墓」のキーワード検索エンジンが 17 位にまで上がっている。SEO 対策を考えコンテンツを充実させたい。更にワードプレスを取り入れ、事務局で新着情報を更新できるようにしたい。

⇒全会一致にて承認

※HP キャラクターを募集しています。

(6) 【広報委員会】終活読本ソナエ２０１４年出稿　上野委員長　資料審議 P34

記録的な発行部数。4 月よりデジタル版も開始。引き続き掲載していきたい。

新田：地方では産経新聞はメジャーでない。

上野：全国配信を見据えてのデジタル版開始。フジサンケイグループなのでフジテレビの名前も使える。

柴田：お墓相談室は経産省の後援をもらっているので線引きをして欲しい。

⇒全会一致にて承認

(7) 【お墓Ｄ委員会】PR グッズ作成について　(デザイン回覧)　中村委員長　資料審議 P36

過去にのぼり、ポスターを作成してきました。続く第 3 弾の PR グッズです。デザインは新テキストにも流用を考えています。

⇒全会一致にて承認

(8) 【お墓Ｄ委員会】新テキスト作成について　(デザイン回覧)　中村委員長　資料審議 P39

現在、委員会にて校正中。タイトルは「お墓の教科書」。6 月の年次大会に向けてサンプルを作成、予約販売を開始します。

新田：最終原稿はどのように閲覧できるのか。

中村：最新校正原稿は事務局にて閲覧できます。ご希望の方にはドロップボックス内でデータを閲覧できるようにします。

⇒賛成多数にて承認（白票１）

(9) 全日本仏教会 600 号記念特別号 特別協賛について　井口直前　資料審議 P41

伯井：一般消費者に対しての発信は協会からだけでは狭い。幅を広げるためには関連業界からも訴えてもらうことが大事。相互に関連して新しいカタチとして走り出しを今やらないと発展のスピードが遅くなるのでは。

⇒全会一致にて承認

(10) 【役員候補者管理委員会】次期役員（案）について　太田明彦委員長　資料審議 P45

資料を元に説明。

⇒全会一致にて承認

(11) 次年度組織図（案）について　射場会長　資料審議 P50

熊野：国際関係委員会が無くなることにより、日中石材交流会の担当はどうなるのか。

会長：早急に検討していきます。輸入卸商部会にイニシアチブを取っていただきたい。

⇒全会一致にて承認

(12)第 5 回定時総会資料ににについて　総会運営/出欠状況　中江専務　資料審議 P51

監査報告・斎藤監事⇒薄田監事へ変更。総会委任状の集まりが悪い。各地区・支部長にご協力いただきます。

⇒全会一致にて承認

(13) 第 5 回定時総会資料ににについて　事業報告・決算　射場会長/望月副会長　総会/P3・P17

会長：振り返ると充分出来たこと出来なかったことなど浮かぶが、これからの 2 年間も力強いお力添えをよろしくお願いいたします。

望月：決算報告書を元に説明。

⇒全会一致にて承認

（14）第 5 回定時総会資料ににについて　事業計画・予算　射場会長/中江専務　総会/P31・P41

会長：（定時総会資料を元に説明）協会、個店にとって最大の目的は「お墓参りという習慣のある暮らしの豊かさ」「石という素材の魅力を訴えかけていく」ことだと思います。誰かが、ではなく自分が、と考えていただけたらと思います。

大代：事業予算書を元に説明。総会資料内、各自ご担当部分の訂正等があったら 5/20 までに連絡をください。

⇒全会一致にて承認

（15）【NIPPON 石博】実行委員会進捗状況【協議から審議へ】　二上委員長　協議 P53

事前にご協力いただいたアンケートでは様々なご意見がございました。ありがとうございます。

改めて実施計画の説明。上野公園の立地好条件の説明。「石」啓蒙を主旨とする説明。

石本：全国放送のメディアに取り上げられる規模でないとメリットを感じない。

二上：上野広報委員長にお力添えをいただきプレスリリースを含めメディアに取り上げてもらうことが成功の鍵になってくると思う。

上野：産經新聞は取り上げてくれる確約。メーカーとタイアップも検討中。時間をかけてマスメディアには働きかけていく。

前迫：費用対効果、墓石を出せない条件、天候等のリスクを考え、以前白紙撤回の要望書を出した。もっと時間をかけてじっくり検討して欲しい。熱意だけでなく周りをよく見て欲しい。

谷本：建築業を主としていますが、一般の方は石には多くの種類があることを知らない。石を広める良い機会。

新田：天候に対しての対策の説明ください。アンケート質問 12 の意見に対してどうお考えか。

二上：設営をお願いしているイベント会社に雨が降ったとしてもある程度の快適さのあるテント配置をお願いしている。質問 12 に対して、メディアを使って発信をしていく中でアピールをしていく。こう考えていかないと東京ではどんなイベントを行っても埋もれてしまうことになり、何も出来なくなってしまう気がする。保障はないがそこに向けて努力している。

望月：賛成。是非開催して欲しい。復興記念品を作成中。「石」という素晴らしい存在を広める良い機会。来場者の数は関係なく、石屋の若者がお墓以外の次の夢を見つけてくれたら大成功と思う。

寺尾：地方の者として、是非東京で開催して欲しい。そして持ち帰りたい。必ず自分たち、お客様の為になる。

石本：現在、電気屋さんで買わずネットで買い物をするのが大半。イベントを開いたからといってその場で買うわけではない。ものすごく時間とお金をかけて無駄なことをやっている気がする。この組織で開催する必要性を感じない。石材部会のやり方の流れを感じる。能力は自社に使ってこの組織ではボランティアで良い。

藤原：個人の意見を多の意見として発言するのは如何か。大人の対応で会議に参加して欲しい。すべての人がネットを使っているわけではない。一般の人は石を知らない。広めるためにこの協会はあるのではないのか。

上野：一会員として。以前は後ろ向きの賛成であったが、現在は汗をかきたい。終活イベントに参加して一般の方の「お墓とは忌み嫌うもの」意識がよくわかった。ここでの意見はすべて正しく貴重なものと思う。

谷本：日本全国の石を集結させてほしい。知らない石もあるので非常に興味深い。

友常：各地の石の情報を紹介出来れば活性化につながるのでは。全国の国産石材をＰＲしたい。

直前：議論を交わせて良い機会と思う。色々な意見があって成功につながれば。

白井：ひとつの会場を拠点にして、周辺の施工例散策ツアー等を組み込んだらいかがか。

柴田：イベント自体には賛成。メリットは考えていない。巡り巡るメリットを念頭に入れたらどうだろうか。お祭りをやるにはメリットを考えず皆の力が必要。ネット上のコンテンツも取り入れたらいかがか。

片桐：支部に持ち帰り報告をするに当たり、上程資料の議案はしっかりと記載して欲しい。審議する内容が明確でない。

越智：基本的に賛成。実行委員会には、妥協せず甘えず腹をくくった取り組みをお願いしたい。

中村：地元で石あかりロードに携わり 10 年超えたが、石屋さんの意識が変わったことを見ている。1300 社が集まりイベントを開催することにより発信力が高くなる。成功の定義はない。是非、委員会に参加し意見を交わしていただき汗を掻いてほしいと思う。

岸田：メリットは皆がつくっていくもの、そして生まれるもの。結果、石の文化が残れば成功と思う。

太田元：お墓が出せないことは確かに辛い。庵治石では生活に密着しているものを出そうと思う。違う部分の発信が大事ではないか。

福川：多くの意見をありがとうございました。ぜひ前向きに捉えていただきご協力をいただきたいと思います。

会長：たくさんのご意見ありがとうございました。石本地区長がおっしゃっているのは「会員にとって魅力的な石

産協・事業とは何か」をもう一度考えなさいと問われているように感じました。
これまでの経緯を説明します。2005 年に対内向けのジャパンストンフェア（JSF）が開催され、翌年 2006 年に一般消費者向けの新フェア検討委員会が立ち上がりました。新フェア準備委員会から新フェア実行委員会へとなります。急がず時間をかけたほうが良いと意見が出ていますが、すでに 9 年間を費やしています。会場に関しても上野公園に決まるまで日比谷公園、代々木公園、東京国際フォーラムも視察しました。天候に対する効果も協議も重ねて来ました。大きな予算をかけますが、今やらなければ一般向けフェアは二度と出来ないのではないかと感じています。ぜひ成功させたい事業と思います。

片桐：すでに審議を通っている事業内容に変更があるのであれば、修正だけで良いと思う。

議長：前回常任理事会にて開催日と補正予算については審議が通っているので内容の審議をお願いします。

⇒賛成多数にて承認（白票６）

【協議事項】

（2）理事交通費支給額変更について・正副交通費支給について　望月副会長　協議 P58

金子：新支部長は県内の島から参加しているので考慮して欲しい。

前迫：何を基準としているのか再度明確にしてほしい。

望月：最初に申告していただいた金額を土台にしている。妥協案ですので色々な意見をご提案ください。

柴田：関東は 0 円だが千葉県は広く地域によってはかなりの金額がかかる。平等に検討いただきたい。

望月：当初 1 万円以下は考えておらず、遠方から来る方の負担を軽減しようと考えた。

戸髙：当初どのように支給するのか検討し、振込手数料の額も大きいので毎回一人ずつ現金手渡しでお支払する予定だった。事務局負担を考慮し 1,000 円単位での金額となった。現在は前期後期と振込み制になっているので、金額の申告をしていただきその何％を支払うやり方もある。ただ、使う航空便により運賃の差が出てしまう。

⇒継続協議

【報告・依頼事項】

（1）【北海道地区】地区全体会議　越智地区長　資料報告 P60

前回より隔年開催。関連事業の幸ふくろう運動も 4 回目となりスムーズに進んでいる。

（2）【関連部会】ミニストーンフェアＩＮ北海道について　湯口部会長　資料報告 P64

北海道新チーム 12 社が参加して開催。

（3）【大阪府支部】広告について（『葬祭流儀』大阪版）　村上支部長　資料報告 P66

5 月末発行の終活雑誌内に広告掲載。費用は支部会費で負担。

（4）【奈良県支部】なら燈花会　石灯りの小径　大石支部長予定者　資料報告 P67

石の面白さ、石産協の PR も行う。石あかりロードの協力をいただいている。

池渕：石産協の存在を知ってもらうことが重要な目的。石博の成功をお祈りします。

（5）【石産協本部・香川県支部】石あかり広告協賛について　坂本支部長　資料報告 P69

正副にて 20 万円協賛決議。

（6）【墓石部会】安心した墓石販売の推進　森田部会長　当日資料

5 月配布予定。契約書内、約款の部分の最終調整中。総会までには配布したい。

（7）【年次大会 2014】申込状況について　戸髙委員長　資料報告 P51(総会出欠同頁)

現在 130 名程の参加申込。この倍程の参加者数を目標としている。是非、お誘い合わせの上ご参加ください。

議長：総会欠席の方に委任状提出を徹底して促してください。

（8）【広報委員会】産経リビング主催　終活イベント出展　上野委員長　資料報告 P70

1300 名の来場者数。240 人ほどに小冊子配布。新規にパネルを作成したので各イベントで使用して欲しい。

（9）【広報委員会】お墓参りの日ＰＲ事業について　上野委員長　資料報告 P76

ポスター作製・配布。皆さまを通じてお寺に配布（販売）したい。

（10）【お墓Ｄ委員会】お墓ディレクター１級研修会について　中村委員長　資料報告 P79

一泊二日の研修会を 5 年前から開催。過去最高の出席者数。引き続き企画していきたい。

（11）【お墓Ｄ委員会】更新状況について　中村委員長　資料報告 P82

2 級の更新率がかなり上がった。分析したい。2 級の更新は必要ないのではと意見をいただいているので今後検討していきたい。

(12) 【お墓D委員会】終活フェスタ 2014in 東京出展について　中村委員長　資料報告 P83

8/24、終活フェスタにてお墓ディレクターPR ブース出展。

(13) 【次世代共育委員会】あじストーンフェア青年部交流会の後援について　山口副会長　資料報告 P87

協会と委員会の PR をする。多くの委員会メンバーを募りたい。

(14) リスティング広告の件　射場会長　資料報告 P89

YouTube「お墓物語」動画の中に 5 万円上限で 3 ヶ月間。効果を見る。

(15) 埼玉県営墓園事業化について　阿部支部長　資料報告 P94

大川：東京都以外に初めて計画された樹林永代供養墓地。業界から埼玉県丁検討委員会へ働き掛けていく。
5/11 本庄でのお墓相談にてアンケートを集計したので今後役立てたい。
次世代育成ネットワーク委員長として 6 年間お世話になりました。今後も新委員会の委員としてお手伝いしていきます。

(16) 朝日新聞記事　書籍「０葬」について　井口直前　資料報告 P95

正副各自 1 冊ずつ購入読破し、指摘する部分は厚生省にクレーム相談する。

(17) 【災害支援本部】祈りの杜　完成報告　井口直前　資料報告 P95

3/9 完成。石産協にて支援。

(18) 準会員について　大代専務予定者　資料報告 P97

定款の変更に伴い、会員種別も検討。

(19) 消費税について　大代専務予定者　資料報告 P98

今年度は保留。来年 10%に上がった際に検討する。

(20) 支部総会について　大代専務予定者　資料報告 P99

支部運営規定より、毎年 4 月末までに支部総会を開催しなければならない。徹底してください。

(21) 年間スケジュールについて　大代専務予定者　資料報告 A3 別添

WEB 上でも閲覧可能です。確認・把握してください

【その他質問事項等】

斎藤会計顧問：総会資料内、会計報告の説明。お墓ディレクターの受検休止の影響により 500 万円ほどの収入減。
しかし支出も減（主に委託費等）。利益は例年より増（440 万円）。預り金＝義援金。

◎その他、各理事より報告・挨拶

Ⅳ．監事講評

斎藤監事：次期も監事を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

Ⅴ．閉会

2014 年 5 月 15 日

議事録署名人　：　副会長　福川修介　㊞

議事録署名人　：　監　事　斎藤勝実　㊞

議　　長　：　副会長　岸本達也

議事録作成人　：　事務局　星野みゆき